

5月の活動報告

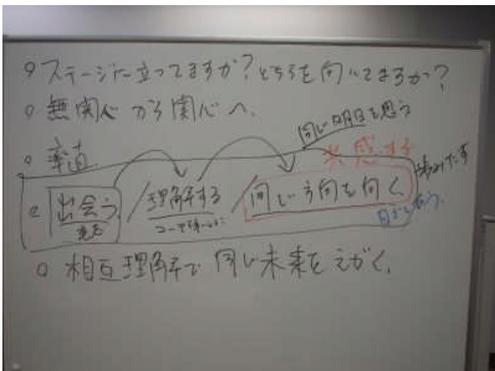
「ダイアログ bar 京都」の視察

5月1日に京都(株式会社ウエダ本社南ビル)で行われた「第4回ダイアログ bar」に参加しました。(主催：NPO 法人ミラック、NPO 法人 home's vi) 毎回、京都の外からゲストを迎えられています。今回のゲストは Nosigner 事務所の創業者・太刀川英輔さんでした。前半はゲストトーク(1時間)後半は参加者によるダイアログ(40分)という流れです。後半のダイアログでは、参加者からトピックを募集し、8つのテーマがあがりました。私自身も「地域がよくなるダイアログとは」というテーマで、トピックをあげました。他の参加者は、出たトピックから興味のあるものを選択。トピックを出した人以外の参加者は、トピックを出した人が理解を深めたり、新しいアイデアを手に入れるためのサポーターとしてダイアログに参加しました。各テーブルには模造紙とペンが用意されていて、話しながらキーワードを書き添えたり、言葉のつながりにラインを引いたり、グループごとのアイデアがグラフィカルに表現されていきました。ダイアログが終わると、トピックを出した人たちがダイアログの様子をシェア。「こんな指摘を受けてハッとした」「具体的に解決策になりそうなアイデアをもらった」「新しい視点をもって考えが広がった」などの報告がありました。



シャープ(株)三重工場のダイアログ実施

5月15日にシャープ(株)三重工場のステークホルダーダイアログを実施しました。実施へ向けて、2日にはダイアログチームでの打合せ、7日にはダイアログのリハーサルを行いました。リハーサルでは、シャープ(株)三重工場のスタッフや三重県環境生活部のスタッフにも参加していただき、本番前に貴重なご意見をいただきました。



写真右) 5/2 の打合せのときのホワイトボード。まず第1回目のダイアログを実施する前に、ダイアログチームのメンバー全員で「ダイアログとは?」について、深く考えました。そうして出た、Mブリッジとしてのダイアログ

は、「出会い、理解し合い、同じ方向を向くこと」。この3つのステップを今後のダイアログでも大切にしていきたいと思えます。

写真左) 5/7 のリハーサルの時の写真。実際に本番する形式でダイアログを実施し、改善点を洗い出しました。シャープ(株)三重工場のスタッフの方から、提案をいただくなど、とても有意義な場となりました。5月15日当日の報告は別紙を参照。